

# 会議録（要旨）

## 1. 開会

## 2. あいさつ

## 3. 報告

(1) やしお生涯楽習館の建物診断業務調査結果について

(2) やしお生涯楽習館の大規模改修計画（案）について

### <事務局説明>

事務局より、次の資料に基づき説明を行った。

資料1 やしお生涯楽習館大規模改修計画（案）概要

資料2 やしお生涯楽習館大規模改修計画（案）

資料3 「やしお生涯楽習館の事業運営について」意見まとめ

### <委員からの意見>

- ・ 資料3について、令和4年11月に八潮市NPO団体連絡協議会が市長あてに要望書を提出しているが、資料に反映させていないのではないかと。  
内容は、照明が暗い、Wi-fi設備やラミネート機が必要等であった。  
⇒（事務局より）資料3に記載されている内容については、第3回会議終了後、楽習館の施設見学をしてもらい、その後各委員よりいただいた委員の意見をまとめたものである。ただし、今回報告させていただいた大規模改修計画（案）において、Wi-fi設備やLED照明など要望書に記載された事項についても反映している。
- ・ 資料1の「7 主な改修内容」に記載されているDX推進、ICTの活用とはどのようなものか。  
⇒（事務局より）DX推進とはデジタルトランスフォーメーションの略語であり、デジタル技術を用いて業務を行う改革のことである。昨年度行ったSNSでの情報発信もDX推進事業の取り組みの一つである。
- ・ 以前利用者を対象としたアンケートを取ったが、どんな意見があったのか。  
⇒（事務局より）資料2のP13からP19に基づき説明を行った。
- ・ 若い利用者からの意見はどうだったか。  
⇒（事務局より）令和3年度と5年度にわたって利用者アンケートを実施したが、若い方からの回答が少なかったことから、学習室を利用している若い方たちに個別に要望を伺ったところ、主にインターネット環境の整備や個別に利用できるようパーティションの設置について要望があった。
- ・ りらーと八幡では、需要に合わせ、フリースペースや多目的室の活用方法を検討しているとのことである。楽習館の大規模改修を行うにあたって、施設利用内容も把握する必要がある。また、少数の利用者への配慮も必要かと思う。
- ・ 施設のセキュリティについても検討しなければいけない。（例えば、部屋の利用者が怪我をした際の状況を確認できる監視カメラなど）  
⇒（事務局より）現在、楽習館の一部の多目的室に監視カメラが設置されており、改修計画の中にも監視カメラの設置が含まれてい

- る。例えば、今年1月からオープンした市役所新庁舎には、エレベーター内を映したモニターが各階に設置されており、中の状況を確認できるようになっている。今後、予算を踏まえながらではあるが様々なシステムの設置についても検討する予定である。
- ・ 劣化診断に対する大規模な工事は必要ないといった解釈でよいか。  
⇒（事務局より）躯体工事は必要ないが、外壁などの補修は必要である。しかし、今後ソーラーパネル等の新たな高重量設備を導入する場合は、耐震性・耐久性の補強が必要になる可能性がある。
  - ・ 今後の進め方としては、利用者アンケートなどに基づき、市民ニーズを取り入れた改修（資料2のP9）の一覧から必要な項目について検討を行い進めていくといった解釈でよいか。  
⇒（事務局より）お見込みのとおりである。
  - ・ 使いやすく、誰でも利用できる施設や設備であってほしい。みんなが楽しく使える場所であってほしい。
  - ・ 地震等の災害が起こった際、楽習館は、どのように活用されるのか。  
⇒（事務局より）楽習館は、防犯計画において、市内3番目の本部として位置付けられており、ボランティア支援班の待機場所などの活用場所として想定されている。
  - ・ 楽習館には、防災拠点の備蓄品はあるのか。ないのであれば、籠城しても困らない備蓄品は必要であると思う。また、東京電力では、通信基地が被災し携帯電話が使用できなくなった場合は、内部で交信できる衛星通信を持っている。希望としては、公共施設でも衛星通信機器を設置してほしい。
  - ・ 人・もの・仕事で施設は成り立つが、今回議論しているのは、ものである。しかし、仕事を考えなければ、ものは決まらない。楽習館は学びの施設であるが、災害や防犯、バリアフリーなども考慮しなければいけない。
  - ・ 多目的に使用できる施設は、不特定多数の市民が利用するため、外からの防犯と施設内での事件が起きた時の防犯が必要な時代になってきていると思われる。  
⇒（事務局より）防犯面は十分考慮して検討を進めていきたい。
  - ・ 楽習館では公民館ではできない活動ができる。今後の事業展開を考える際は、公民館との違いを生かすよう考慮する必要がある。
  - ・ 楽習館の完成はいつ頃になるのか。  
⇒（事務局より）資料2のP11にリニューアルまでのスケジュールが記載されているとおおり、令和8年7月を予定している。
  - ・ 多目的スペースを考えるにあたり、少人数の団体が複数使用できるようなスペースを分割できる設備が必要であると感じる。
  - ・ 設備に最新機器を搭載しても、使い方が分からず、使われないことが予想されるため、設備講師等がいてほしい。
  - ・ 1人でも少人数でも利用できる施設になってほしい。
  - ・ 設備の中で壁面を覆うようなLEDモニターなどがあれば、イベントの創造が膨らむのではないか。インパクトのある計画があると良い。  
⇒（事務局より）限られた予算を有効に使って、多くの方が使いやすい施設となるよう検討してまいりたい。

#### 4. その他

来年度の委員会について

令和6年5月中旬から下旬を予定

#### 5. 閉会